

発行日 2000年3月1日
発行元 株式会社
オリジン・コーポレーション
代表取締役：杉井保之
〒426-0044 静岡県藤枝市大東町777-1
TEL 054-636-4300 FAX 054-636-6187
Email origin@shizuokanet.ne.jp

続かなくていい

「あなたも朝、地域の掃除をしてみない？」と色々な人に勧めてみて一番多かったのは、「良いことだと思うけど、そんな大変なこと、私にはとても続かないから」という回答でした。

私はその答えを聞いて、とても興味深く感じました。それは、多くの人が「続かない」ことを気にしている点です。

確かに「三日坊主」だとか「やっぱり続かなかった」などと言う人がいるかも知れませんが、ほとんどの人がやっていないのですから、やらなくなって元なのです。それどころか、やらなかった場合と比べたら、掃除をした三日分だけは確実に綺麗になった訳ですから、胸を張って良いと思うのです。

私達は、小さなときから「続かなかったこと」に対して、たくさん刺激を与えられてきたためか、努力したことより、出来なかったこと（結果や人からの評価）の方に目が行ってしまいがちなようですが、より幸せになりたいと思ったら、良いと思うことを始めるしかないと思うのです。続くかどうかは、その後の問題です。私は、始めてみたことが貴いことだと思うのです。

もう一つは、やってもいらないうちに掃除が「大変」だと、なぜわかるのでしょうか？ 私掃除を始めるまでは「大変だろうな」と思っていたのですが、実際に朝、皆で集まって掃除をしてみると、朝から何かを綺麗にするというのは意外と清々しいものなのです。人生のコツは、「大変かどうか」を考えるより、「どうしたら楽しくやれるか」にあると思います。

私の場合は、善い友と一緒に、積極的にやることです。

☆☆ お便りコーナー ☆☆

閉店間際に娘とケーキを買いに行ったときのことです。
家に帰ってから十歳の娘が「ママ、どうしてこのケーキを選んだと思う？」と尋ねるので、「バナナが好きだからでしょ」と答えると、「違うよ。このケーキが一番たくさん残っていたからだよ。職人さんが一生懸命作ったのに、たくさん残っていたらかわいそうでしょ。だからこれを選んだんだよ」と
私はびっくりすると同時に感動してしまいました。ケーキをそんな発想で選ぶなんて、これまでに考えたこともありませんでした。
(以上、リビング福山の記事より)
もうケーキ屋さんで、「どれにしようかな」なんて迷うことはありません。
みさちゃん、本当にありがとう。
伊藤 民子

「ももんさん」
甥っ子が、保育園に通っていた時の担任、「ともももんさん」。明るくて、優しく、笑顔のステキな先生です。園の生活に慣れず、よく泣いていた甥っ子。不思議なことに先生の顔を見ると、すぐに泣きやみ、抱っこをされると、うれしそうに笑っていた姿を思い出します。
今月の初め、先生のお母さまからおハガキをいただきました。
「知子が、病気のため世界」
涙があふれ、文字がかすんで、しばらくハガキを持ったまま夢の中にいるようでした。まだ三十代後半の先生。どんな気持ちで天国へ旅立たれたのでしょうか。
偶然にも先生の命日は、私の誕生日と同じ。先生の分までがんばって生きていきたいと思えます。
阿崎 美奈子

イエロー・ハットさんから頂いた「相田みつをさん」の目めくり
に「願を持ちましょう」という文章が載っていました。

「願を持ちましょう」

「願」と「欲望」とは根本的に違います。
わずかなお賽銭を挙げて、それも年一回の初詣での時ぐらいで、「家内安全。商売繁盛。お金がいっぱいできますように」なんてね。
こういうのは個人的・私的な欲望です。
それをわたしは否定しません。
わたしも同じですから。
しかし、そういう私中心の欲望とは全く別に、

「核戦争など、起こりませんように」
「世の中が、どうか平和でありますように」
「山や海や河、そして土、水、空気、自然が、
人の作る公害で、これ以上汚れませんように」

と心から念じたとき、それを「願」といいます。
どんな小さな「願」でも心ひそかに持ち続けていると、顔がよくなり、目の色が、深く澄んできます。
ひとりひとり自分に合った「願い」を持ちましょう。
そして「一隅を照らす」人間になりたいものです。

これと似たようなことをアドラー心理学でも教えてもらったことがあります。

「生きていると色々なことが起こりますが、そんなとき『それは私にとってどうか？』としか考えられない人は幸せに生きにくく、『それは私達にとってどうか？』と考え、それに沿った対応が出来る人は幸せになりやすい」という内容のことでした。

ここで言う「私達」というのは、自分の仲間や家族といった身内のことを指しているのではなく、今この世にいる皆にとって、これまで生まれて来た全てにとって、そしてこれから生まれてくるだろう全てのものにとってどうかというように広い範囲での「私達」を指していて、その範囲が狭い人ほど生きにくいということなのです。

私自身、ずっと「幸せになろう」と努力してきましたが、自分で自分を持ち上げることは、私には出来ないことのようにです。どんなに経営を学んだり、心理学を学んでも、それを使って自分を幸せにしようとしているうちは、乗り物が変わっただけで走っているところはほとんど変わりがないのです。

「私達にとってどうか？」という考え方をする人が増え、少しでも世の中を良くしようとする人が増えていったら、きっと皆が幸せになれると思います。私は、心からそれを願います。

今月の活動情報

お問い合わせはお電話で...

日程	内容	主催者・会場
3 / 4 (土)	大村博之君 結婚式	(アソシア静岡ターミナル)
3 / 11~12	建設的な生き方を学ぶ会	(浜松グランドホテル)
3 / 17 (木)	「繁盛する店、しない店」	(河津町商工会)
3 / 18 (土)	日本青年会議所 静岡ブロック協議会	アカデミー委員会
3 / 19~20	経営塾「ランチェスター戦略」	(オリジン)

「建設的な生き方を学ぶ会」のご案内に、「もし人が集まらないと、オリジンがなくなるかも知れません」と書いたところ、「社長も交代したし、そんなに危ないの？」と、本当に心配して下さった方がいたようです。私としては軽いジョークのつもりでしたが、こんな時代だとシャレにはならなかったようです。ご心配をおかけしてすみませんでした。
心配して下さった方につきましては、寄付等、常時受け付けておりますので安心して送り下さい。